

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜県立恵那南高等学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和6年1月24日 (水) 15:20~17:20
- 3 開催場所 かえでホール会議室
開催にあたり、委員による「産社・総合学習発表会」参観を実施した

- 4 参加者 会長 桜井 正之 岐阜県先端科学技術体験センター
副会長 鈴木 隆一 NPO法人「いわむら一斎塾」理事長
委員 瀬瀬 千尋 明智振興事務所長
根崎 育郎 本校同窓会長
安藤 一博 恵那市立明智中学校長
塚田 直子 恵那市恵南商工会女性部部长
足立伊公子 えな健幸生活支援隊事務局長 (欠席)
石田 宏樹 株式会社ROBOZ代表取締役 (欠席)
瀬瀬 尚子 本校PTA代表
堀 陽子 農業法人おんさい工房 (欠席)

オブザーバー

- 水野 正敏 岐阜県議会議員 (欠席)
岡田 庄二 恵那市教育長
渡辺 康正 明知鉄道 (株) 代表取締役
林 尚志 県立高校地域連携コーディネーター

(敬称略)

学校側	安藤 範和	校長	河村 拓士	教務主任
	柴 成吉	教頭	小栗 優来	進路指導主事
	大野 和司	事務長	小島 光示	総合学科主任
			上川 智草	記録係

5 会議の概要

(1) 本校の今年度の取組について

1. 自己評価・学校関係者評価について
 - ・教務部
 - ・生徒支援部
 - ・進路支援部
 - ・総合学科
2. 生徒心得（校則）の改訂について
 - ・全委員より生徒心得の改訂について承認が得られた。
3. 令和5年度学校運営協議会のご意見を受けて

(2) 本校への提言

意見1：今年はデュアルシステムを体験した8名のうち3名がその企業に就職することが決まったが、今後はどのような方向で進めていくのか。

→ さらに多くの生徒にデュアルシステムに参加してほしいと考えている。1年次生対象に体験を発表する機会をもち、選択者を増やしていきたい。

意見2：進路指導の成果が非常に良い。デュアルシステムは良い取り組みなので継続してほしい。体験した生徒の声を報道してもらうことで今後にさらにつながっていくと思う。

意見3：学習支援アプリがあまり活用されなかった点につき、改善点を洗い出し、今後につなげてほしい。

→ アプリの動画と授業の進度が合わず、使いづらかった面がある。アプリ内のテストを活用し、計画的な動画配信をすることを検討している。

意見4：非常に良い発表会だったので、動画などで中学生の保護者に対しても情報提供できるとよい。また、今回の発表会には明智中学校2年生のみ参加していたが、他の中学校にも見てもらおうとよい。

→ 翌日にオンラインで実施。3校参加。

意見5：デュアルシステムは非常に良い取組なので継続してほしい。市役所での実習生がいたが、市役所の業務は多岐にわたり、高校生にはイメージしにくいので、いろいろな業務を体験することは進路を決めるうえで有意義だ。

意見6：恵那市南部地域5中学の統合の話が進んでいるが、中学校の名前を「恵那南中学校」にし、中高一貫も視野に入れて連携していけるとよい。

意見7：高校生が堂々と発表している様子を見てうれしく思う。今後中学生の数が減っていくので心配だが、「浪漫学園」があるので、地域に関わることで中高で協力していきたい。今後中学校で森林や地域おこし等について学んだ生徒が高校に入学するので、高校で学びを深めていけるのが楽しみだ。

意見8：子ども達の表情がよくなってきていると感じた。学年が進むにつれて、内容も深く、濃くなってきている。ケーブルテレビで放送されたらよい情報提供になっていたと思う。明知鉄道の補助、介護人材育成修学資金等、市が協力できることは今後も継続していきたい。

意見9：「産社・総合学習発表会」を今後も継続してほしい。かえでホールだけでなく、恵那の文化センターのようなもっと広い会場でもよい。広範囲からの生徒募集につながるようにアピールできるとよい。

- 意見 10：生徒に動きがあり、元気がある印象を受けた。4年前にこの会議で承認されたデュアルシステムやドローン学習の取組が成果を上げているのは感慨深い。太鼓、魅力化プロジェクト、6次産業学習、いずれもレベルアップしており、学校全体として良い方向に進んでいると感じる。ICTのさらなる活用や子育て世代への情報発信を心掛け、生徒が元気であるか、地域に浸透しているか、といったことを意識しながら、これからも頑張っていってほしい。
- 意見 11：ICT活用は集めた情報をどう活用するかが重要。講義方式の方がよい場合もあるので、使い分けが必要。タブレット端末のドリル形式アプリなどを利用して基礎学力の底上げができるとうい。
- 意見 12：年ごとに工夫しながらよくやっているし、出口教育もしっかりできている。その先の人間としての在り方、生き方教育、人間力を高める教育も特にこれからの時代には必要だ。
- 意見 13：学校教育目標にある「調和のとれた心豊かな地域社会人の育成」のためには生徒一人一人が自立することが先決だ。そのためには生徒の自覚が第一であり、こうした大人になるために、今何が大切かを1年生の時に徹底して教育し、2・3年生になって学校全体を支え盛り上げる集団に成長してくれるとうい。
- 意見 14：全体として本当によくやっている。職員も健康に十分気を付け、生徒のために頑張っていってほしい。
- 意見 15：教員の学習指導に対する生徒の評価が高く、授業の教え方や説明が分かりやすい点が良い。双方向的なICT活用を促進することでさらに幅広い授業内容になることを期待している。
- 意見 16：意欲的な生徒を育てることが今後の進学・就職につながると思うので、きめ細やかな指導を継続してほしい。
- 意見 17：商品販売の場所を明智町内に限定せず、恵那、中津川へと広げることで知名度が上がるのではないかと。
- 意見 18：学校運営協議会での意見を受けて早速SNSを活用した学校PRに取り組んだのは非常に良い。

6 会議のまとめ

- ・「産社・総合学習発表会」について非常に高い評価を得ることができた。
- ・生徒心得（校則）の改訂について承認が得られた。
- ・新たな取組である「デュアルシステム」について高い評価を得ることができた。また、この取組に対する期待は非常に大きい。
- ・総合学科の魅力や意義について理解を得ることができたが、それが地域に浸透していないとの指摘もあった。今後も地域への情報発信、中でも子育て世代に対する情報発信に努めていきたい。
- ・今年度の教育実践について理解と評価を得ることができた。中でも地域と連携した活動には評価の高さと同時に期待も高く、支援、協力していきたいという意見もあった。今後も地域と連携し、恵那市南部に高等学校が存続していくために、将来を見据えた教育活動を推進していきたい。